

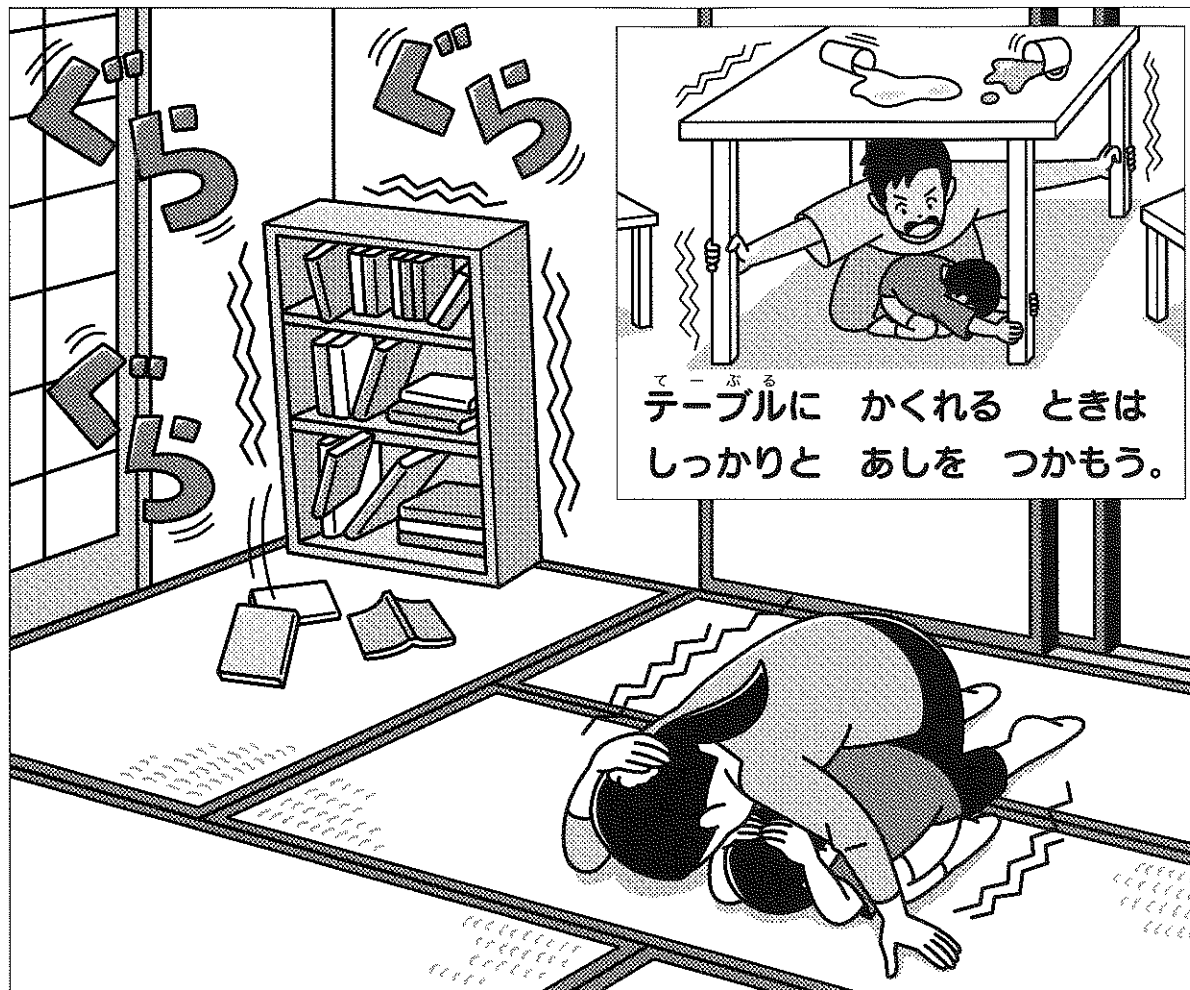
あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生

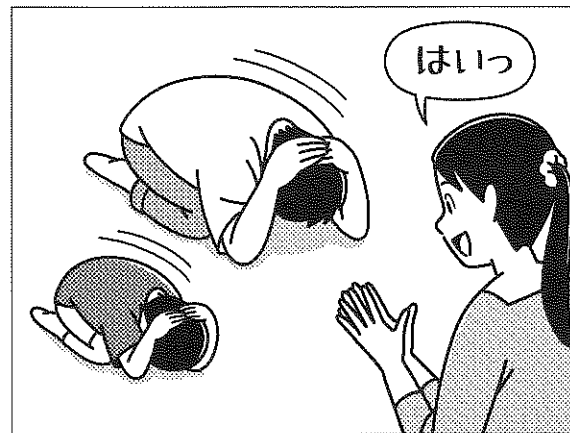
9月1日は「防災の日」……大正12年のこの日に起こった関東大震災の教訓を忘れないように、昭和35年に制定された記念日です。日本は地震大国です。いつ発生するのか予測もできない地震に備え、ご家庭でも常日頃からできる対策をしておきましょう。



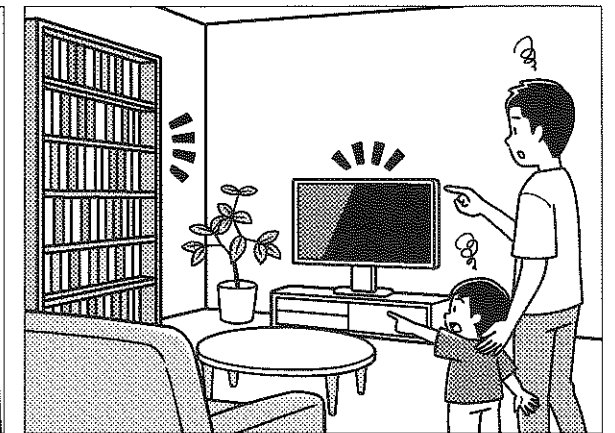
9月1日は「防災の日」 地震への備えを確かめておきましょう ぐらりっ！ じしんが きた ときには どう すれば いいのかな？



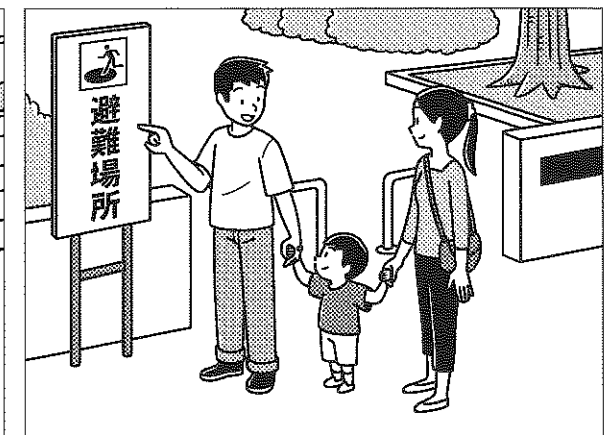
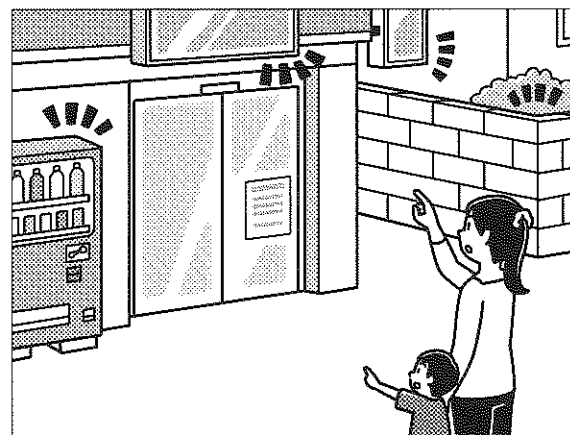
てぶる
テーブルに かくれる ときは
しっかりと あしを つかもう。



からだを まもる ポーズの
れんしゅうを して おこう。



いえの なかの あぶなそうな
ばしょを たしかめて おこう。



じしんが きたら たおれて きたり おちて きたり うごいて いえの そとの あぶなそうな ひなんばしょに なる ばしょが
きたり する ものから すぐに はなれて からだを まもろう。 ばしょも たしかめて おこう。 どこに あるのかを みに いこう。

保護者の方へ 地震が起きた時に最も大切なのは、自分の体を守ることです。落ちてくるもの、倒れてくるもの、移動してくるものから離れて、揺れが収まるまで身を守りましょう。頑丈なテーブルの下に隠れる時は、動かないようにしっかりと脚をつかみましょう。地震は、いつ発生するのかわかりません。日常生活の中で、掛け声に合わせて「身を守るポーズ」をとる練習をしたり、家の中、外での安全な場所と危険そうな場所を確かめたり、近くの避難場所までの道を実際に歩いて確認したりなどしておきましょう。

10月号では「子どもだけでいる危険」について取り上げます。

この面のみ複写して保護者に配布できるように編集してあります。また、保護者に配布する目的に限り、出典を明示し、この面をスキャンしてホームページまたはメールで配信することができます。